

## 01.プロローグ～ドラゴンのお姉ちゃんとぼく～

「お姉ちゃんにお勉強をみてもらいながら...」

え～っとそしたら...

こないだやった簡易錬成の公式に、最初の数字を代入して...

不純物の値に気をつけながら計算して、と...

求まる元素は銀。

重さは0.3グラム。

...うん！正解だよ～。

教わったこと、ちゃ～んと覚えてるね～。

えらいぞ～...♡

それじゃあキリもいいし、今日のお勉強はここまでにしようか。

今日はけっこう進んだね～。

来週からはもう、次の章に入れそうだね。

んっ...う～～～...！っはあ...。

お外、いい天気だね～。

今度ピクニックにでも行こっか～。

わたしの作ったサンドイッチも持ってえ...。

えへへ、おいしいんだよ～。

お姉ちゃんのチキンサンド。

...くすくす。どうしたの～...？

ちょっとつかれた～...？

...ふふ。いつもの、ほしい...？

いいよ～...♡

今日もたくさん、がんばったもんね。

それじゃあ...

「おしりを向ける」

お姉ちゃんのスカートの中、おいで～...♡

ん...ふあ...♡

ふふっ...。

ずっと座ってたから、むわ～って蒸れて、濃い匂いになってるでしょ...？

いっぱい深呼吸していいからね～...。

はい、

す～は～...す～は～...。

くすくす...

す～は～...す～は～...。

汗とお、おパンツとお、

お姉ちゃんの匂いでい～っぱいのお...

あなたのだ～いすきな場所だよ～...♡

す～は～...す～は～...。

す～は～...す～は～...。

「おなかがごろごろと鳴る」

あ。くすくす...聞こえちゃった？

お姉ちゃん、今日はちょっと溜まっちゃったかも。

...ふふ、い～い？

...それじゃあいつもの、いくね～...。

ふん...

「パンツ越しの大きなおなら」

はあ...。

おっきいの、出ちゃった...♡

はあい、それじゃあお姉ちゃんのパンツに、  
お鼻をおしつけてえ...。  
ゆ〜っくり、吸って〜...吐いて〜...。  
吸って〜...吐いて〜...。  
くすくす...昨日の晩ごはんは、エビピラフだよ〜。  
おパンツの匂いと、おならのタマゴくさ〜い匂い、両方いっぱい味わってね〜...♡  
すう〜...はあ〜...。  
すう〜...はあ〜...。  
くすくす...ワンちゃんみたいにくんくんしてえ...。  
いいんだよ〜。  
あなたはお姉ちゃんのおならが、だ〜いすきだもんね〜...♡

は〜い、  
吸って〜...吐いて〜...。  
吸って〜...吐いて〜...。

[またおなかがごろごろと鳴る]

あ...また出そう...。  
う〜ん...それじゃあ今度は...ぎゅ〜...。  
えへへ〜、しっぽ、まきつけ〜...♡  
これでもう、おしりからお顔、離せないね〜。  
それじゃあ、いくよ...？  
ん〜...

[もっと強烈なおなら]

はあ〜...♡  
は〜い、  
吸って〜...吐いて〜...。  
吸って〜...吐いて〜...。  
おしりの中で、深呼吸してえ...。  
す〜は〜...す〜は〜...。  
お姉ちゃんの匂いで、気持ちよくなってね〜...。  
す〜は〜...す〜は〜...。  
す〜は〜...す〜は〜...。